

国土審議会第25回計画部会（懇談会） 議事概要

1. 日時 平成19年11月16日（金）10:00～11:40

2. 場所 東京プリンスホテル

3. 出席委員（敬称略）

森地部会長、石、垣内、金井、小林、関根、中澤、中村、村田、和気

4. 議事（概要）

(1) 開会

(2) 議題① 最終報告に関する調査審議 ⑤

議題② その他

(3) 閉会

5. 主な発言内容

(1) 議題① 最終報告に関する調査審議 ⑤

- ・交通は個々のモードや施設で完結するものではなく、総合的に考えることが必要。国土審議会の役割は横断的に議論することだと思う。
- ・「おわりに」の「地域力」という言葉について、もう一言定義を添えると、わかりやすいのではないか。
- ・地方の依存体質からの脱却が重要だということを強調してほしい。
- ・温暖化問題が重要。第1章の基本的な考え方ところで気候変動という言葉で記述してほしい。
- ・「はじめに」に出てくる「質の高い公共サービス」が重要という話を「おわりに」にも入れて呼応させてはどうか。
- ・「はじめに」にもっと地球環境とか環境に配慮したという文言を入れてもいいのではないか。
- ・第8章第3節（4）は、第8章の最後なので、従来型の行政の役割だけでなく、「新たな公」の考えを入れた方がよい。

【国土利用計画について】

- ・三大都市圏と地方圏の分け方は再考すべきではないか。
- ・今まで我が国の土地は狭いといわれてきたが、産業構造などが変化した中で土地は狭くないというメッセージが出せないか。
- ・専門委員会では、全国レベルでデータをとるには制約があり、地域で獲得すべき情報に違いがあってもよいとの議論があった。
- ・国内の土地については、エコロジカル・フットプリントやバーチャル・ウォーターといった海外での土地利用との関連で見る必要がある。

(以上)